

日仏二国間セミナー

「グローバル化で変化する日仏の 国家アイデンティティ, ジェンダー関係, 社会格差」

2007年11月3日 [土] - 4日 [日]

名古屋大学文系総合館 7階カンファレンスホール

入場無料・同時通訳あり

グローバル化についての分析の大部分は、経済が国内外に及ぼす直接的影響に集中し、海外への資本投資や頭脳流出、国内における資本の集中による産業構造の変化等の用語によって語られてきた。しかしこのグローバル化が根本的に再編しなおす国内で問題になっているのは、国家のアイデンティティ、ジェンダー関係、社会格差などの絡み合いとその変化である。グローバル化は、まさに地球規模ではあるが、世界的にも国内的にも、変化が加速されるところと、変化から取り残されるところがある。グローバル化を中心として、日仏それぞれの国内における国家のアイデンティティ、ジェンダー関係、社会格差等の絡み合いと変化を詳しく分析していくのが、このセミナーの目的である。個々の社会現象を分析するだけでなく、社会科学系の研究者と人文科学系の研究者が、学際的に手を携えて、それら現象を社会・文化・歴史の中に位置づけて考察する。

プログラム

11月3日 [土]

第I部. 「グローバル化と国家アイデンティティ」

- 9:40 -10:10 松田道男 「現代グローバリズムの超国家的性格と世界新秩序構築の必要性」
10:10 -10:40 フランソワーズ・オリヴィエ＝ユタール 「グローバル化と国民アイデンティティ」
10:40 -11:10 棚沢直子 「グローバル化時代の国家アイデンティティ—日仏比較」
11:25 -11:55 アラン・ビール 「ネオリベラル的ニュースピーク (新語法)」
11:55 -12:25 米山優 「日本的なポリフォニー」
14:00 -14:30 鶴巻泉子 「地域音楽から全国、ワールド・ミュージックへ—1990年代以降のブルターニュ音楽・沖縄音楽の流行に見る、マイノリティ文化と国民国家の変容」
14:30 -15:00 コプス・ファンスタデン 「アルプスの金色の輝き: 文化的グローバル化、ヨーロッパのイメージとハイジ」
15:00 -15:30 辻山ゆき子 「グローバリゼーションの中における在日コリアン」
15:30 -16:00 ステファン・ハイム 「トヨタ株式会社のヨーロッパにおける生産発展と企業文化: 賃金 - 労働関係、下請け会社との関係、コーポレート・ガバナンスの調査」
16:15 -17:45 討論 (司会: 田所光男)

11月4日 [日]

第I部. 「グローバル化と国家アイデンティティ」 (続き)

- 9:00 -9:30 布施哲 「保田與重郎と「イロニーとしての日本」—失われた世界と政治的現実との狭間で」
9:30 -10:00 田所光男 「現在の西欧化モデルに従う以外にモダンはないのであれば—〈グリーン・ペリル〉と〈イエロー・ペリル〉を貫くもの」

第II部. 「ジェンダー関係」

- 10:15 -10:45 木村信子 「世界に直面した近代日本のアイデンティティ形成—高群逸枝の思想をとおして」
10:45 -11:15 サンドラ・シャアル 「価値観の存続と近代性—戦前日本における女性製糸業労働者の場合」
11:15 -11:45 大根絹代 「住まいが語る日本女性の生き方モデル」
13:15 -13:45 中嶋公子 「グローバル化における高学歴専業主婦の未来」
13:45 -14:15 松本伊瑛子 「ワーク・ライフ・バランスを考える—21世紀型人間・社会の構築に向けて」

第III部. 「社会格差」

- 14:30 -15:00 マリー＝クロード・ルブー 「家庭向け対人サービスの行方: 専門職化か、新たな家事使用人の地位か?」
15:00 -15:30 ミッシェル・フォルテ 「女性の職業訓練—グローバル化するヨーロッパで、何が課題か?」
15:30 -16:00 ロラン・プフェフェコロン 「社会構造分析のための社会学的ツール」
16:15 -17:45 討論 (司会: 米山優)

主催: 名古屋大学国際言語文化研究科

助成: 独立行政法人日本学術振興会

問合せ先
(申込み不要)
ウェブサイト

052-789-5950 (文系事務部)
matsumot@lang.nagoya-u.ac.jp (松本伊瑛子)
www.lang.nagoya-u.ac.jp/global/